

プログラム 大会 2 日目 3 月 5 日 (日)

第 1 会場 (1 号館 2F センチュリーホール)

シンポジウム 12

8:45～10:15

がん患者に寄り添った、かかりつけ薬剤師・薬局を目指すために
～『かかりつけ薬剤師・薬局のがん薬物療法に関する業務ガイドンス』の活用～

オーガナイザー：草加市立病院 薬剤部 伊藤 剛貴
オーガナイザー・座長：有限会社つくし薬局 大塚 昌孝
座長：埼玉医科大学国際医療センター 高山 俊輔

S12-1 ガイドンスの作成と概略について

草加市立病院 薬剤部 伊藤 剛貴

S12-2 ガイドンスを有効活用するために 薬局の立場から

日本調剤 柏の葉公園薬局 下村 直樹

S12-3 ガイドンスに記載されている有効事例紹介

総合メディカル株式会社 そうごう薬局 天神中央店 本田 雅志

S12-4 「がん患者さんと薬剤師の絆集」とヘレン・ケラーの言葉

帝京平成大学 薬学部 濃沼 政美

S12-5 業務ガイドンスの今後の展望 ～専門医療機関連携薬局を見据えて～

埼玉医科大学国際医療センター 高山 俊輔

かかりつけ薬剤師・薬局のがん薬物療法に関する業務指針 WG 企画

特別講演 2

10:25～11:25

座長：北海道薬剤師会 医薬情報センター 遠藤 一司

先生、モルヒネはよく効くねー。何でがんの薬はそうでもないの？

僻地からみたがん治療

国民健康保険志摩市民病院 江角 浩安

ランチョンセミナー 9

12:10～13:10

irAE マネジメントにおけるチーム医療とタスクシフト/シェア

座長：東京薬科大学 薬学部 臨床薬理学教室 鈴木 賢一

LS9-1 irAE マネジメントにおけるタスクシフト/シェア ～主治医の目線で～

神戸市立医療センター中央市民病院 腫瘍内科 安井 久晃

LS9-2 タスクシフト/シェアで薬剤師が実践できる irAE マネジメント

倉敷成人病センター 薬剤科 今村 牧夫

共催：ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社/小野薬品工業株式会社

シンポジウム 13

13:20～14:50

若年がん患者に寄り添う指導へ

～みんなで考えよう！がん生殖医療と薬剤師の関わり～

オーガナイザー・座長：国立国際医療研究センター 薬剤部 小室 雅人

オーガナイザー：諏訪赤十字病院 薬剤部 網野 一真

座長：滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤部 日置 三紀

S13-1 がん治療における生殖機能への影響に関する情報収集と評価
埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部 長谷川まゆみS13-2 がん・生殖医療相談支援センターにおける薬剤師の役割
千葉大学医学部附属病院 薬剤部 山崎 香織

S13-3 がん生殖医療への希望 ～若年がん経験と妊孕性、里親・特別養子縁組に至るまで～

Ray of Light Japan 牧野かおり

共催：日本がん・生殖医療学会

シンポジウム 14

15:00～16:30

薬剤師が主役になる！ePRO & PRO-CTCAE による有害事象モニタリングを日常診療で活用するために知っておくべきこと

オーガナイザー・座長：東北大学大学院医学系研究科／
東北大学病院臨床試験データセンター 山口 拓洋オーガナイザー：東京薬科大学 医療実務薬学教室／
東北大学大学院 医学系研究科 医学統計学分野 川口 崇

座長：星薬科大学 実務教育研究部門 佐野 元彦

S14-1 薬剤師に期待する臨床研究と日常診療における ePRO 活用
東京薬科大学 医療実務薬学教室／東北大学大学院 医学系研究科 医学統計学分野 川口 崇S14-2 ePRO の日常診療への導入における期待と問題点
手稲溪仁会病院 薬剤部 松波奈緒美S14-3 ePRO で得られた情報にどのように対応するか
杏林大学医学部付属病院 薬剤部 臼井 浩明S14-4 ePRO 活用における Future Perspectiv
～医療者・患者それぞれのメリット～
日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 鷺巣 晋作S14-5 ePRO の日常診療への活用に向けて、患者コメントから考えること
順天堂大学医学部附属練馬病院 薬剤科 金 素安

第2会場 (4号館 1F 白鳥ホール (北))

シンポジウム 15

8:45～10:15

薬剤師が寄り添い支える小児がん薬物療法の実際
～子どもたちの笑顔のために私達ができること～

オーガナイザー・座長：北海道立子ども総合医療・療育センター 益子 寛之
聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 湊川 紘子

S15-1 小児領域のがん薬物療法

国立成育医療研究センター 薬剤部 歌野 智之

S15-2 小児がん領域の支持療法の実際

神奈川県立子ども医療センター 戸津舞衣子

S15-3 がんの子どもを支えるために、臨床薬剤師のかかわりを考える

滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤部 日置 三紀

ランチョンセミナー 10

12:10～13:10

座長：新潟県立がんセンター新潟病院 薬剤部 吉野 真樹

LS10 患者の訴えをどのようにして拾い上げ、irAE マネージメントをおこなうのか？
～患者の状態を病態生理から把握し的確な処方提案を行う～

東京医科大学病院 薬剤部 東 加奈子

共催：MSD 株式会社

市民公開講座

14:00～16:00

がんと共に生きる時代へ～医療従事者との絆～

座長：日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2023 大会長／有限会社 つくし薬局 大塚 昌孝

日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2023 副実行委員長 佐藤由美子

司会：NPO 法人愛媛がんサポートおれんじの会 理事長 松本 陽子

患者・アスリートの立場より

サントリーホールディングス 谷 真海

薬剤師の立場より

聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 湊川 紘子

スポーツファーマシストの立場より

日本スポーツ協会アンチ・ドーピング部会委員 大石 順子

第3会場 (4号館 1F 白鳥ホール (南))

シンポジウム 16

8:45~10:15

Onco-cardiology~薬剤師に何ができるのか?~

オーガナイザー・座長: 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター 井上 裕貴
臨床研究センター研究企画管理部
KKR 札幌医療センター 薬剤科 玉木 慎也

S16-1 腫瘍循環器学 (Onco-Cardiology) 概論 薬剤師に期待すること
大阪国際がんセンター 成人病ドック科 向井 幹夫

S16-2 薬剤師視点で考える Onco-Cardiology
公益財団法人がん研究会 有明病院 薬剤部 根本 真記

S16-3 循環器の視点から考える Onco-Cardiology の薬学的管理
金沢医科大学病院 薬剤部 石田 有希

Basic セミナー (がん超入門セミナー) 5

10:55~11:25

座長: そうごう薬局 崇禅寺店 吉留実慧子

乳がん薬物療法の基本

浜松医療センター 薬剤科 宮本 康敬

Basic セミナー (がん超入門セミナー) 6

11:25~11:55

座長: 琉球大学病院 薬剤部 鈴木 毅

慢性骨髄性白血病

慶應義塾大学病院 薬剤部 櫻井 洋臣

ランチョンセミナー 11

12:10~13:10

座長: 有限会社つくし薬局 大塚 昌孝

LS11 薬局薬剤師が携わがん患者へのサポート

総合メディカル株式会社 学術情報部 下川友香理

共催: ニプロ株式会社

シンポジウム 17

13:20～14:50

がん患者を地域で支えるー病院・保険薬局・ドラッグストア薬剤師連携の推進ー

オーガナイザー・座長：大垣市民病院 薬剤部 吉村 知哲
帝京平成大学 薬学部 小原 道子

- S17-1 地域における薬剤師の役割と連携への期待
帝京平成大学 薬学部 小原 道子
- S17-2 がん患者に対する病院薬剤師の関わりと課題
大垣市民病院 薬剤部 郷 真貴子
- S17-3 岐阜大学病院外来化学療法における地域医療連携の取り組みー情報共有の重要性ー
岐阜大学医学部附属病院 薬剤部 廣瀬智恵美
- S17-4 薬局薬剤師のチーム医療への関わりと情報提供の実際
(株) セイヨウトレーディング エース薬局船附店 大森 智史
- S17-5 ドラッグストア薬剤師による患者サポートと情報共有
ウエルシア薬局株式会社 調剤運営本部 在宅推進部 友部 賢

シンポジウム 18

15:00～16:30

ALL 薬剤師で支える地域のがんサポートとは

オーガナイザー・座長：株式会社メディカルファーマシー ミキ薬局日暮里店 長久保久仁子
座長：株式会社 ak ホールディングス 上永谷薬局 大野 朋子

- S18-1 専門医療機関連携薬局が担う地域でのがんサポート
クオール株式会社 関東第一事業部 クオール薬局港北店 村田 勇人
- S18-2 地域の中にある認定薬局の役割を考える～看板を掲げる責任と覚悟～
有限会社キムラ薬局 中島 美紀
- S18-3 認知症を抱える患者さんが悪性腫瘍と診断されたら ～在宅の現場での経験をもとに～
株式会社 ak ホールディングス 上永谷薬局 大野 朋子
- S18-4 在支診薬剤師のかかわり～在宅医療の視点から～
医療法人社団プラタナス 桜新町アーバンクリニック 大須賀悠子

第4会場 (1号館 4F レセプションホール)

シンポジウム 19

8:45~10:15

Up-To-Date! みんなで守ろう患者の血管! がん薬物療法に伴う血管外漏出マネージメント

~がん薬物療法に伴う血管外漏出に関する合同ガイドライン発刊記念シンポジウム~

オーガナイザー・座長: 独立行政法人国立病院機構 埼玉病院 龍島 靖明

座長: 埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部/がんゲノム医療科 牧野 好倫

- S19-1 ホスアプレピタントの使用はEVリスクに影響するか
防衛医科大学校病院 薬剤部 相澤 雄介
- S19-2 CQステロイド局所注射、外用剤塗布の使用は推奨されるか
公益財団法人 がん研究会有明病院 薬剤部 青山 剛
- S19-3 デクスラゾキサンの使用は推奨されるか
厚生労働省医薬生活衛生局 医薬品審査管理課 文 靖子
- S19-4 EVによる皮膚障害・炎症の悪化・進行を防ぐために局所療法として冷電法・温電法は推奨されるか
公益社団法人日本看護協会 神戸研修センター 教育研修部認定看護師教育課程 菅野かおり
- S19-5 薬剤別組織障害性分類に新たに加わった薬剤とその解釈について
国際医療福祉大学病院 薬剤部/国際医療福祉大学 薬学部 佐藤 淳也

ランチョンセミナー 12

12:10~13:10

最新のエビデンスに基づくがん性皮膚潰瘍の治療・ケア

~ロゼックスゲルの使用成績調査~

座長: 北里大学 医学部 乳腺・甲状腺外科学 三階 貴史

- LS12 ロゼックス使用成績調査に基づいたがん性皮膚潰瘍の治療・ケアにおける薬剤師の役割

昭和薬科大学 臨床薬学教育研究センター 実践薬学部門 渡部 一宏

共催: マルホ株式会社

シンポジウム 20

13:20～14:50

個別化医療が切り開くがん薬物療法の新しい扉

オーガナイザー：慶應義塾大学病院 薬剤部 櫻井 洋臣
 国立がん研究センター東病院 リサーチアドミニストレータ室 板垣 麻衣
 座長：国立がん研究センター東病院 薬剤部 米村 雅人
 東北大学病院 薬剤部／東北大学大学院 薬学研究科 菊地 正史

- S20-1 がんゲノム医療におけるがん遺伝子パネル検査の基礎知識
 東北大学病院 薬剤部／東北大学大学院 薬学研究科 菊地 正史
- S20-2 遺伝子パネル検査に基づくがん薬物療法の展開と課題
 慶應義塾大学病院 薬剤部 櫻井 洋臣
- S20-3 SCRUM-Japan が取り組むがん薬物療法の新しい扉
 国立がん研究センター東病院 リサーチアドミニストレータ室 板垣 麻衣

シンポジウム 21

15:00～16:30

がん診療病院連携研修が築く、地域医療連携の未来

オーガナイザー・座長：クオール薬局自由ヶ丘店 三星 勇輝
 慈泉会 相澤病院 野村 充俊

- S21-1 がん診療病院連携研修における研修病院の取り組み ～主に近隣薬局から受け入れている施設として～
 慈泉会 相澤病院 野村 充俊
- S21-2 がん診療病院連携研修における研修病院の取り組み ～遠方からの研修生受け入れを中心に～
 福岡大学病院 薬剤部 内山 将伸
- S21-3 がん診療病院連携研修制度がもたらす薬剤師の研鑽意識向上とその成果
 トライアドジャパン株式会社 かもめ薬局旗の台店 広池 暁子
- S21-4 がん診療病院連携研修を経験し、専門性を考える。～外来がん治療専門薬剤師になるということ～
 望星薬局 久田 健登
- S21-5 JASPO がん診療病院連携研修で学んだことと今後の取り組み
 クオール薬大塚1号店 笛木 景子

第5会場 (1号館 4F 会議室 141+142)

シンポジウム 22

8:45~10:15

患者力を引き出すために医療者に何ができるか？

~Patient Empowerment Program(PEP)への招待~

オーガナイザー・座長：竹田綜合病院 薬剤科 木本 真司

座長：奈良県綜合医療センター 総合診療科 東 光久

S22-1 患者力を引き出すために、薬剤師だからできること、薬剤師にしかできないこと

松下記念病院 薬剤部 渡邊 裕之

S22-2 Patient Empowerment Program (PEP) 「患者×医療従事者×PEP=患者さんにとって前向きで実りある人生」にする為に

国立病院機構 災害医療センター 薬剤部 村上 明男

スポンサーセミナー

10:45~11:45

座長：公益財団法人がん研究会有明病院 薬剤部 清水 久範

SS 緩和薬物療法における薬剤師の役割 ~鎮痛薬を中心に~

千葉大学医学部附属病院 薬剤部 須藤 知子

共催：日本臓器製薬株式会社

ランチョンセミナー 13

12:10~13:10

メラノーマ治療における副作用マネジメントと多職種連携

座長：埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部 石川 詩帆

LS13-1 メラノーマで使用する分子標的薬の副作用管理

— 併用療法で何に注意するのか —

公益財団法人がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科 吉野 公二

LS13-2 経口抗がん薬を安全に使用するために

— 薬剤師を中心とした多職種連携 —

国立がん研究センター中央病院 薬剤部 宇田川涼子

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

一般演題(口演) 5 病診薬 (薬薬) 連携・チーム医療 1 13:20～14:20

座長：国立病院機構水戸医療センター 薬剤部 木村 滋
ナカジマ薬局サンセイ本店 田中 寿和

- O-35 外来がん化学療法における栄養スクリーニング MUST を用いた管理栄養士との連携
金沢医科大学病院薬剤部 中川 武史
- O-36 トラスツズマブ デルクステカン使用に向けた取り組み－間質性肺疾患の副作用対策を中心に－
大垣徳洲会病院 薬剤部 加藤 貴由
- O-37 外来がん化学療法患者フォローアップにおいて、病院・保険薬局間で交わされる Q&A を共有する
社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 薬剤センター 中村 久美
- O-38 薬薬連携強化のための地域保険薬局を対象とした外来がん薬物治療研修会の評価 ～継続的な実施に向けて～
国立病院機構横浜医療センター薬剤部 宇留賀仁史
- O-39 がん薬物療法における薬薬連携の現状から見える特定薬剤管理指導加算 2 の算定ができない要因の解析
祥漢堂薬局 崇禅寺店/YCH・保険薬局がん薬薬ネット 吉留実慧子

シンポジウム 23

14:30～16:30

薬局、病院薬剤師で考えるがん患者の悪心・嘔吐対策

オーガナイザー・座長：公益財団法人 がん研究会有明病院 薬剤部 青山 剛
株式会社アインホールディングス 医療連携学術部 松村 敦子

- S23-1 最新のエビデンスに基づく、がん化学療法における制吐対策
岐阜大学医学部附属病院 薬剤部 飯原 大稔
- S23-2 悪心・嘔吐の原因となる病態、薬剤について
昭和大学臨床薬理研究所/昭和大学藤が丘病院血液内科 馬場 勇太
- S23-3 薬局薬剤師の悪心・嘔吐への介入症例
アイン薬局島根 2 号店 松澤友里香
- S23-4 術後補助化学療法中、悪心のコントロールに難渋した大腸がんの症例
－ チームが遭遇した意外な難敵 -
東京大学医科学研究所附属病院 薬剤部 飯村 洋平

第6会場 (3号館 3F 国際会議室)

シンポジウム 24

8:45~10:15

がん患者を支えるために必要な個人力・組織力

オーガナイザー・座長：昭和大学横浜市北部病院／昭和大学 薬学部 病院薬理学講座 縄田 修一
 国立がん研究センター中央病院 国際開発部門 大里 洋一

S24-1 がん患者とかわかる医療者のストレスケアの重要性 ～マインドフルネスを活用して～

昭和大学医学部 医学教育学講座 高宮 有介

S24-2 がん患者さん・ご家族を支える多職種チームの一員となるために ～在宅医療の中で考える～

株式会社 ak ホールディングス 上永谷薬局 大野 朋子

S24-3 薬剤師を支援する組織作りに必要な評価方法を考える ～頑張る者の心を挫かないための準備をしよう～

国立がん研究センター中央病院 国際開発部門 大里 洋一

S24-4 大きな組織での個人力と組織の在り方

クオール株式会社 クオールアカデミー・教育研修本部 長沼 未加

教育セミナー 3

10:45~11:45

アプリで生まれる新たな安心と絆

～オンラインでがん患者さんを見守る仕組みの実際

座長：愛知県がんセンター 薬物療法部 本多 和典
 国立がん研究センター中央病院 薬剤部 牧原 玲子

ES3-1 総論：デジタルがつなぐ病院と患者の新たな絆

国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科 後藤 悌

ES3-2 簡単で効果的、しかもタダ！アプリによる irAE の早期発見から OS の延長へ

国民健康保険小松市民病院 薬剤科 桂 英之

ES3-3 アプリでより深く患者さんに共感するからこそ実現する信頼関係と患者力

竹田総合病院 薬剤科 木本 真司

共催：株式会社 Welby/オンコロジー PHR コンソーシアム

ランチョンセミナー 14

12:10~13:10

座長：日本臨床腫瘍薬学会 遠藤 一司

LS14 がん患者を中心とした医療提供の中で薬剤師が果たす役割

医療法人鉄蕉会亀田総合病院 薬剤部 薬剤管理部/試験管理センター 薬剤部 舟越 亮寛

共催：クオール株式会社

一般演題(口演) 6 病診薬 (薬薬) 連携・チーム医療 2 13:20～14:20

座長：新須磨病院 薬剤科 岡本 勇二
株式会社リフテップ 昌永堂薬局 内坪 敬太

- O-40 カペシタビンの手足症候群に対する PBPM 導入による重症度低減効果の評価
禎心会 札幌禎心会病院 薬剤部 太田 明秀
- O-41 看護師による免疫チェックポイント阻害薬投与前問診における「irAE 評価シート」の効率性と妥当性評価
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 薬剤部 吉田 弘樹
- O-42 当院の薬薬連携におけるトレーシングレポートの有用性評価
斗南病院 高崎 修一
- O-43 大阪府におけるがん薬薬連携と特定薬剤管理加算 2 の現状調査～多施設共同アンケート調査 第 1 報～
東淀川薬局柴島店/YCH・保険薬局がん薬薬ネット 喜田 博美
- O-44 外来がん化学療法連携充実加算がもたらす病薬連携の有用性に関するアンケート調査
北里大学病院 薬剤部 中込 梢

シンポジウム 25 14:30～16:30

2022 年度 JASPO 海外研修派遣事業報告シンポジウム

オーガナイザー：国立がん研究センター東病院 薬剤部 鈴木 真也
オーガナイザー・座長：国立病院機構東京医療センター 太田 貴洋
座長：九州がんセンター 薬剤部 久松 大祐

- S25-1 JASPO の海外研修について
国立がん研究センター東病院 薬剤部 鈴木 真也
- S25-2 米国の医療体制を見て、日本の外来治療における“連携”について考える
松山赤十字病院 越智 美月
- S25-3 日本とアメリカの薬剤師制度の違いとは？～海外研修を通して学び、今後どう活かしていきたいか～
国立がん研究センター東病院 薬剤部 田内 淳子
- S25-4 保険薬局薬剤師として海外研修に参加して感じたこと
株式会社ファーマシィ 山根 孝太
- S25-5 Oncology Pharmacy at Memorial Sloan Kettering Cancer Center
Memorial Sloan Kettering Cancer Center, New York, NY
Lisa Modelevsky
- S25-6 NCODA: Advancing Medically Integrated Oncology Around the Globe
National Community Oncology Dispensing Assosiation, Cazenovia, NY
Tahsin Imam

S25-7 これからの海外研修者に期待すること

国立病院機構東京医療センター 太田 貴洋

S25-8 来年度の海外研修者に応募する方へのアドバイス

広島大学病院 薬剤部/広島臨床研究開発支援センター 本永 正矩

渉外委員会 国際交流小委員会企画

第7会場 (4号館 3F 会議室 431+432)

一般演題(口演) 7 がん薬物療法 2 8:45~10:09

座長：独立行政法人 国立病院機構 別府医療センター 松尾 圭祐

東京薬科大学 薬学部 医療実務薬学教室 藤宮 龍祥

O-45 イマチニブとパセリ・セロリの併用で有害事象が生じた一症例

一般社団法人都市北諸県郡薬剤師会かかりつけ薬局支援センター 吉田啓太郎

O-46 AFP 産生再発胃がん患者に対する3次治療のニボルマブ投与終了後にCR
となった症例

益田赤十字病院 薬剤部 吉田 勝好

O-47 外来がん薬物治療患者に対して適切な支持療法の提案を行うことで処方カ
スケードを回避した1例

総合メディカル株式会社 そうごう薬局 天神中央店 足立 昇平

O-48 大腸がんの1次治療、2次治療、3次治療中の患者へテレフォンプォローア
ップにより介入した事例

くろみ薬局 兵庫医大店 下村 翔一

O-49 十二指腸乳頭部癌治療中にFoundationOne CDx 検査にてPTEN 変異が
確認され、神経内分泌癌としてエベロリムスが投与された一例

社会医療法人 熊谷総合病院 薬剤科 青木 洸英

O-50 当院におけるニボルマブ+イピリムマブ併用療法の実態調査

高槻赤十字病院 薬剤部 濱武 清範

O-51 エンホルツマブベドチンの当院における使用実績と副作用発現状況等につ
いて

国立病院機構 九州がんセンター 田中 亜弥

ランチョンセミナー 15

12:10~13:10

座長：医療法人豊田会刈谷豊田総合病院 薬剤部 滝本 典夫

LS15 『オンコロジー領域のBS 製剤を考える』

～抗体バイオBS (分子標的薬) を中心に～

公益財団法人がん研究会有明病院 薬剤部 山口 正和

共催：セルトリオン・ヘルスケア・ジャパン株式会社

専門医療機関連携薬局の推進に向けた薬局 BPACC 会議 13:30～15:00

座長：総合メディカル株式会社 下川友香理
 埼玉医科大学国際医療センター薬剤部 高山 俊輔

オープニング

日本臨床腫瘍薬学会理事長 近藤 直樹

基調講演：専門医療機関連携薬局の推進に向けて

厚生労働省 医薬・生活衛生局 総務課 青柳ゆみ子

特別講演

日本調剤 柏の葉公園薬局 下村 直樹

特別講演

クラフト株式会社 さくら薬局 自治医大前店 前原 央奈

一般演題(口演) 8 病診薬 (薬薬) 連携・チーム医療 3 15:00～16:24

座長：草加市立病院 薬剤部 伊藤 剛貴
 あすなる薬局 本田 泰斗

- O-52 外来がん治療患者の継続的フォローアップを評価する指標の探索
 株式会社フロンティア/国際医療福祉大学大学院 薬学研究科 医療・生命薬学専攻 丸田 勇樹
- O-53 がん化学療法患者における薬局-病院間の症例カンファレンスの有用性
 帝京大学医学部附属病院薬剤部 徳留 雄太
- O-54 専門医療機関連携薬局におけるトレーシングレポートの解析から見えてきたこと
 スギ薬局 名古屋大学病院店 吉田 達司
- O-55 地域基幹病院薬剤部と協働した土浦地区における薬薬連携の取り組み
 土浦薬剤師会/茨城県立こども病院 薬剤部 堀越 建一
- O-56 地域薬剤師会と協働した土浦地区における薬薬連携の取り組み
 総合病院 土浦協同病院 薬剤部 飯田 遼
- O-57 「情報共有用紙」を介した病院薬剤師からの情報提供が薬局薬剤師による処方提案に与える影響：後方視的検討
 名古屋市立大学病院 竹本 将士
- O-58 地域保険薬局を対象としたオンライン研修の評価～知識向上にどの程度寄与できているか？～
 国立病院機構横浜医療センター 小井土啓一

プログラム
3月5日

第 8 会場 (1 号館 3F 会議室 131+132)

一般演題(口演) 9 がん薬物療法 3 8:45~10:09

座長：がん研究会有明病院薬剤部 小林 一男
のぞみの花クリニック 餅原 弘樹

- O-59 COVID-19 感染症流行変遷による乳がん周術期治療への影響の検討
国立がん研究センター東病院 薬剤部 馬場 楓
- O-60 切除不能進行再発膀胱がんの 2 次治療における modified FOLFIRINOX と
nal-IRI/FL の忍容性の比較
名古屋大学医学部附属病院 薬剤部 掛布 優樹
- O-61 転移性腎細胞がんスニチニブ長期投与患者におけるスニチニブおよび各代
謝物の血中濃度推移と有害事象の関係
昭和大学 薬学部 臨床薬学講座 薬物治療学部門 里 美貴
- O-62 トリフルリジン/チピラシルとペバシズマブ併用療法における初回投与時の
減量が重篤な好中球減少症発現に及ぼす影響に関する検討
国立病院機構北海道がんセンター薬剤部 梅原 健吾
- O-63 かかりつけ薬剤師の関わりが外来がん治療患者の緊急事態に対応できた症例
日本調剤 谷町薬局 仲谷 誠司
- O-64 セルペルカチニブによる口腔乾燥症に対し OTC を用いて介入した一例
日本調剤株式会社 川崎 祐介
- O-65 抗がん剤 Drug vial optimization が医療費削減へ与える影響
大船中央病院 越智 良明

ランチョンセミナー 16 12:10~13:10

二次性低ガンマグロブリン血症のマネジメントと皮下注用免疫グロブリン製剤の在宅
投与

座長：国立がん研究センター東病院 薬剤部 松井 礼子

- LS16-1 血液疾患領域における二次性低ガンマグロブリン血症
東京医科大学病院 血液内科 赤羽 大悟
- LS16-2 造血器腫瘍患者における皮下注射用 IgG 製剤 ハイゼントラ®在宅導入
-当院の取り組み-
東京医科大学病院 薬剤部 森本 隼多
共催：CSL ベーリング株式会社

一般演題(口演) 10 がん薬物療法4 13:25～14:49

座長：市立函館病院 薬剤部 薬物療法科 坂田 幸雄
クラフト株式会社 さくら薬局グループ 緒方 直美

- O-66 オキサリプラチン過敏反応に対するヒドロコルチゾン予防投与の有用性に関する後方視的研究
国際医療研究センター病院 薬剤部 田中 万穂
- O-67 当院の HER2 陽性胃癌患者におけるトラスツズマブ デルクステカンの使用状況と有害事象発現の調査
国立病院機構九州がんセンター 橋口麻依子
- O-68 ホスアプレピタント投与患者における注射部位反応発現に及ぼす抗がん薬の種類による違いの検討
淀川キリスト教病院 薬剤部 基村 佳世
- O-69 Cryotherapy が Melphalan 大量療法実施患者の在院日数短縮に寄与する検討
国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院 薬剤科 野口 果歩
- O-70 Glasgow Prognostic Score はアルブミン結合型パクリタキセル誘発性神経障害の発現率に影響しない
長崎大学病院 佐伯 結衣
- O-71 オンラインテレフォンのフォローを行うことで、抗がん剤の副作用を発見した症例について
日本調剤株式会社 木元 孝至
- O-72 がん・血液疾患手帳アプリ「Welby マイカルテ ONC」を介し、外来がん化学療法患者へ充実したフォローアップを実施できた一例
一般社団法人 泉州メディカ 田中亜優実

一般演題(口演) 11 がん薬物療法5 15:00～16:24

座長：九州大学病院 薬剤部 池田 宗彦
かえで薬局守谷店 松井 健一

- O-73 切除不能進行・再発食道癌に対するパクリタキセル+S-1 併用療法の安全性と治療効果に関する後方視的検討
大阪大学医学部附属病院 薬剤部 原 伸輔
- O-74 胃癌三次治療における免疫チェックポイント阻害薬による免疫関連有害事象の発現と予後
地方独立行政法人 市立東大阪医療センター 薬剤部 橋本 雅之
- O-75 weekly GEM+nabPTX regimen の制吐療法における steroid sparing に関する後方視的検討
中通総合病院薬剤部 相楽 勇人

- 76 5-FU 持続投与における携帯型持続注入器の変更が患者に及ぼす影響に関する調査
大阪府済生会千里病院 中塚 美穂
- 77 食道がん術前 DCF 療法施行患者のペグフィルグラスチム投与後の予後因子の検討：好中球減少症が術後治療効果へ及ぼす影響
昭和大学薬学部薬学研究科臨床薬学講座薬物治療学部門／昭和大学薬学部臨床薬学講座薬物治療学部門 稲垣 貴士
- 78 再発又は難治性多発性骨髄腫患者におけるプロテアソーム阻害剤カルフィルゾミブ投与時の生存期間に影響を与えるリスク因子の探索
名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 臨床研究開発支援センター／名古屋市立大学大学院医学研究科 次世代医療開発学分野 萩原 宏美
- 79 化学療法施行前の炎症反応は治療後の好中球減少を予測するバイオマーカーになり得るか
大分大学医学部附属病院 薬剤部 白岩 健